



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ 【 男子 】 第 3 節 第 6 日

開催日時 10 月 26 日 (日) 会場 ルネサンス棚倉多目的広場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 -----	ALDER飯能	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$	3	Selrio島根
第2試合 -----	名古屋フラーテルホッケーチーム	4	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$	2	山梨学院OCTOBER EAGLES
第3試合 -----	福井クラブ	5	$\begin{pmatrix} 2 - 1 \\ 3 - 2 \end{pmatrix}$	3	東京農業大学
-----			$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$		

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ALDER飯能 2 $\left(\begin{array}{c} 1 - 0 \\ 1 - 3 \end{array} \right)$ 3 Selrio島根

勝点 7 勝点 13
2 勝 1 分 3 敗 4 勝 1 分 1 敗

<得点>

AL飯能 : 33分伊藤、59分浅見
セル島根 : 55分島、64分高橋、70分糸原

<戦評>

晴天のなか行われた第3節第6日第1試合はALDER飯能のセンターパスで試合が開始された。序盤から両チームとも激しいボールの奪い合いが続き、一進一退の試合展開となり、お互いにペナルティコーナーが1本ずつあるもチャンスを生かせずこう着状態が続いた。このまま前半は終了かと思われたが、AL飯能は33分MF#18伊藤がFB#3塚田からのボールをタッチシュートで決め待望の先制点を挙げた。後半は開始早々AL飯能がSelrio島根陣内に攻め込むがチャンスにはならない。早く同点に追いつきたいセル島根は55分FW#15島がMF#16高橋の右サイドからのセンタリングをゴールへ押し込み同点とする。AL飯能は同点に追いつかれたが、59分MF#8浅見がセル島根ディフェンスをかわしゴール中央へブツシュートを決め勝ち越しに成功した。しかし粘るセル島根も64分に獲得したペナルティコーナーをMF#16高橋がリバースヒットで再度同点に追いつくと、終了間際の70分もペナルティコーナーのリバウンドをFW#17糸原が押し込み逆転に成功し試合終了となった。

テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	押田 幸二
ジャッジ	石田文彦・緑川和芳		野澤 茂

第2試合

名古屋フラーテルホッケーチーム 4 $\left(\begin{array}{c} 2 - 2 \\ 2 - 0 \end{array} \right)$ 2 山梨学院OCTOBER EAGLES

勝点 18 勝点 6
6 勝 0 分 0 敗 2 勝 0 分 4 敗

<得点>

名古屋F : 22分山部、27分塩川、43分河内、57分畠山
山梨学院 : 6分大家、30分朝倉

<戦評>

第3節第6日第2試合は名古屋フラーテルホッケーチームおセンターパスにより開始された。立ち上がりから両チームともに速いパス回しから攻撃を仕掛ける試合展開となり、6分山梨学院OCTOBER EAGLESはFW#9大家が名古屋Fゴール前でパスをカットし、ゴール中央に決め先制点を挙げた。その後名古屋Fは積極的に山梨学院陣内に攻め込み、22分にはFW#10山部がリバウンドからシュートを決め同点とする。27分にもFB#3粥川のロングパスからFB#8塩川がシュートを決め勝ち越しに成功した。一方山梨学院も30分に得たペナルティコーナーをMF#11朝倉がタッチシュートを決め同点で前半を終了した。後半に入っても名古屋Fペースで試合が進み、43分名古屋FFW#6河内がカウンターからブツシュで押し込み3-2とする。その後山梨学院も同点においてこうと名古屋Fゴールに攻めたてるが、名古屋F守備陣の前に決定的なチャンスを作ることができない。57分には名古屋FがFB#16畠山がフリックシュートを決め4-2で名古屋Fの勝利となった。

テクニカルオフィサー	名取 英生	アンパイア	鈴木 茂明
ジャッジ	松本 謙人、河村 圭		成田 健一



高円宮杯 2014ホッケー日本リーグ 【 男子 】 第 3 節 第 6 日

開催日時 10 月 26 日 (日) 会場 栗原市築館多目的競技場 天候 晴れ

【全試合結果】

第1試合 ----- 10:00	立命館大学ホリーズ	2	$\begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix}$	0	小矢部 RED OX
第2試合 ----- 11:40	天理大学ベアーズ	4	$\begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$	1	診療印刷
第3試合 ----- 13:20	岐阜朝日クラブ	2	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 1 - 1 \end{pmatrix}$	2	法政大学
-----			$\begin{pmatrix} - \\ - \end{pmatrix}$		

【各試合の結果・詳細】

第1試合

立命館大学ホリーズ 2 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 小矢部 RED OX

勝点 10 勝点 5
3 勝 1 分 2 敗 1 勝 2 分 3 敗

<得点>

立命館大 : 4分大橋、60分田中

小矢部R :

<戦評>

初の東北開催となる日本リーグ第3節2日目宮城県会場。地元中高生の声援が響く中、立命館大ホリーズのセンターパスにより試合が開始された。
立ち上がり前半3分、右からの打ち込みに立命館大ホリーズ#9大橋が合わせ先制。その後も立命館大ホリーズペースで試合が進む中、12分立命館大ホリーズ#13松田がサークル左からシュートを放つが枠をとらえきれない。17分にも立命館大ホリーズが1本目のPCを獲得するが、小矢部REDOX#16石原の好セーブにより阻まれる。反撃にでたい小矢部REDOXも徐々にペースをつかみ始めるが、立命館大ホリーズの固い守備を崩せない。立命館大ホリーズは#8田中を機転に26分、32分に決定的なチャンスを作るも、決めきれずそのまま前半終了。
後半も立命館大ホリーズが前半の勢いそのままに小矢部REDOXゴールに襲いかかる。小矢部REDOXも#13茶木を中心とした守りで攻撃を凌ぐ中、後半20分にこの試合1本目のPCを獲得する。しかしこれも、地元宮城県出身の立命館大ホリーズ#16曾根の気迫溢れるDFにより阻まれる。地元選手の活躍に会場の熱気も上がり、声援を味方につける立命館大ホリーズ。25分に中盤で小矢部REDOXのボールをカットすると、立命館大ホリーズ#8田中がドリブルで持ち込み、サークル右からスリープシュートをゴール左隅に決め追加点をあげる。その後も、走力に勝る立命館大ホリーズが試合を優勢に進め試合を制した。

テクニカルオフィサー	及川 美代子	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	山下 理菜 / 佐藤 彩		高野 光洋

第2試合

天理大学ベアーズ 4 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ 1 診療印刷

勝点 15 勝点 8
5 勝 0 分 1 敗 2 勝 2 分 2 敗

<得点>

天理大学 : 3分落合、22分石川、41分山城、69分和久利

診療印刷 68分佐藤

<戦評>

素晴らしい秋晴れの中、開催された日本リーグ第3節宮城県会場2日目、天理大学ベアーズ対診療印刷の試合は、開始早々試合が動いた。
立ち上がりから学生らしい速いペースで試合の主導権を握った天理大学は、前半3分カウンターから最後は#6落合が押し込み先制点をあげる。
立ち上りを崩された診療印刷は、徐々に自分たちのペースを取り戻し、追加点を狙う天理大学の攻撃を粘り強い守備で防ぐ。その後、両チームともチャンスを作るものの得点に結びつけることが出来ず、互いに我慢の時間帯が続いた。
その均衡を破ったのは天理大学。前半22分、一瞬の隙をついた#15石川がリバースヒットで得点をあげ、天理大学が2点リードして前半を折り返した。
後半も天理大学のペースで試合が進み、後半6分PCから#13山城が合わせ追加点をあげる。追いつきたい診療印刷は#6村田、#11山口を中心に攻め上がるものの天理大学の固いDFに阻まれ、チャンスを活かすことができずにいたが、後半33分PCのリバウンドを#16佐藤が押し込み1点を返す。しかし、その直後、天理大学がカウンターから最後は#21和久利が確実にシュートを決め、4-1と勝利を決定づけた。

テクニカルオフィサー	川守田 慶隆	アンパイア	野沢 達
ジャッジ	中村 新樹 / 東 尚人		渡邊 道彦

第3試合

岐阜朝日クラブ 2 $\left(\begin{array}{c} 1 - 1 \\ 1 - 1 \end{array} \right)$ 2 法政大学

勝点 8
2 勝 2 分 2 敗

勝点 2
0 勝 2 分 4 敗

<得点>

岐阜朝日 : 15分百成、68分森

法政大学 : 34分下条、60分山口

<戦評>

日本リーグ第3節宮城県会場2日目、岐阜朝日クラブ対法政大学の試合は、岐阜朝日のセンターパスにより試合が開始された。試合開始から岐阜朝日が落ち着いた試合運びを見せるも、法政大学も豊富な運動量を活かし、試合の流れを渡さない。前半9分に岐阜朝日がPCを獲得しチャンスを得たが、法政大学GK#2柳原の好セーブに阻まれ、先制のチャンスを逃す。しかし、岐阜朝日は前半11分に再び獲得したPCを#2百成が確実に決め、先制点をあげる。追いつきたい法政大学も堅守からの速攻を仕掛け、チャンスを作り出す。岐阜朝日リードのまま折り返すと思えた、前半34分、法政大学が得たPCのリバウンドを#22下条がたたき込み、同点で前半を終える。

後半は互いに両チームとも粘り強い守備を見せ、決定的な場面を作り出すことが出来ない。試合の均衡を破ったのは法政大学。後半25分、ロングパスから獲得したPCを#12山口がフリックシュートを決め、法政大学がこの試合で始めてリードする。残り時間10分を切り、岐阜朝日の怒濤の攻撃を法政大学が体を張って止めるも、後半33分、リスタートの早いセンタリングに、岐阜朝日#17森が華麗に合わせ同点ゴールをあげ、試合が終了した。

2日間に渡って開催された日本リーグ第3節宮城県会場は地元・栗原市の観客の暖かい拍手で幕を閉じた。

テクニカルオフィサー	及川 美代子	アンパイア	栗原 崇
ジャッジ	穴井 丈太郎 / 八木 太郎		近藤 聡史